

第47号



2016.11月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029 288 7013 FAX 029 288 7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyo.com>
編集 広報ボランティアグループ



①

福祉・防災フェスティバル
〜災害に負けない知識を学ぼう〜



②



④



③

①心臓マッサージ体験 ②防火服体験 ③ダンボールベッド体験 ④消防車と綱引き

広報紙「かざぐるま」は、赤い羽根共同募金配分金で、年4回発行しています。

設立10周年になる城里町ボランティア連絡協議会と城里町社会福祉協議会の主催、城里町の共催により福祉・防災フェスティバルが、コミュニティセンター城里で9月3日(土)午後1時から3時まで開催されました。

開 会 式

城里町ボランティア連絡協議会の寺門茂雄会長より「町民自らがさまざまな防災体験を通して、日頃からの備えの大切さや、防災について改めて考える機会とする為に、計画致しました」と挨拶がありました。

上遠野町長は「福祉・防災フェスティバルにより、町民の皆様方に防災に関する意識や向上心、そして必要な知識を身に付けて頂く事は大変意義深い事と考えております」と挨拶されました。また、16ヶ所あるブースのうち、4ヶ所を体験すると参加できる「福祉・防災フェス抽選会」の案内がありました。

パネル展示

ロビーでは、各ボランティアグループの活動の様子がパネルで展示されました。また、自衛隊の活動パネルも展示されました。



新聞紙で紙皿作成体験

皿がない時などは皿の形に新聞紙を折り、上からラップをかぶせると皿が出来上がります。ラップを取り替えば何回でも使えます。



非常食体験

水またはお湯を注ぐだけで出来るアルファ米の非常食体験です。アルファ米は一人前が袋に入っていて5年間保存出来ます。通販や大型スーパーの非常食コーナーで手に入ります。今回のブースの中では行列が出来て一番人気でした。



おいしくて、星3つです



紙皿を使っていただきました

新聞紙でスリッパ作成体験

地震等で破片が散乱した際に、新聞紙を折って作る便利な紙製スリッパの体験です。足のケガを防いで、保温効果もあります。



ダンボールベッド体験

避難所ではたくさんの方がいるため、床の上で寝ていると歩いている人の振動が気になります。また、ダンボールベッドは空気層なので暖かく、昼間はイス替わりにもなります。



5人乗っても大丈夫

ゴミ袋でカップ作成体験

ゴミ袋を切るだけで、災害時に役立つ簡易防寒着として使えます。



本日のベストドレッサー

防災アクモキャンドル

水に浸すと化学反応で一週間程点灯します。小型軽量の小容量の簡易ライトです。



避難所体操体験

避難所での生活が続くと、体を動かさない為にエコノミークラス症候群になる危険性が高まります。また体操は生活のリズムを作り、ストレス対策にも有効です。



心臓マッサージ体験・AED操作体験・クイズ

人形を使い、心臓マッサージを体験。倒れている人の発見からAED操作までの一連の救命措置の体験と救命に関するクイズ。



上遠野町長も救命体験を

災害時手話体験

災害時に耳の不自由な方が使う手話体験。



初めての手話体験

車イス体験

車イスに乗り、坂や段差での感覚を体験。



フードドライブ



「もったいない」「ありがとう」に変えるフードドライブ。ご家庭で保存されている

食料品を募集したところ53名の方々より、お米・調味料・レトルト食品・乾麺・缶詰等たくさんのご寄付を頂きました。食料品は、水戸市のNPO commonsと共同で活用しフードバンクとして支援の必要な方にお渡し致します。



NPO commonsの方と寺門会長(右側)



町消防団第4分団(上入野地区)の勇姿

操法訓練披露



力を合わせて、ソーレ

消防車と綱引き

駐車場では、町地域防災室・町女性消防団・町消防団第4分団(上入野地区)・水戸市消防署の協力で、子供達は普段出来ない消防体験が出来て喜んでいました。



防火服を着てハイチーズ

防火服体験



ホースが真っ直ぐ広がるように

消防ホース手広め体験



狙いを定めて消火!

水消火器体験

福祉・防災フェス抽選会

最後に抽選会があり、賞品はゲーム機や防災グッズ等たくさんあり、当選者は大喜びでした。



寺門会長に、終わってからの感想を伺ったところ「来場された沢山の人達や協力してくれたボランティアグループの皆さんにお礼を申し上げます」との事でした。

ボランティアの方は、「初めての試みには上出来でしたが、行列が出来てしまった事は、今後の反省点にしたいです」と話されていたその表情は、とても晴れやかでした。

ボランティア連絡協議会は、3・11東日本大震災後防災についての知識を勉強してきました。

今回取材をして、ボランティアの皆さんが、今まで勉強して来た事を伝えてくれ、防災の体験が出来て良かったと思います。ありがとうございました。

祝 金婚 おめでとうございます

健やかで仲睦まじく寄り添い歩んで来られた結婚50年の日々、これからも笑顔に満ちた日々でありますよう、お祝い申し上げます。

9月19日(月)午前9時30分よりコミュニティセンター「城里ホール」において、城里町敬老会・金婚式式典が開催されました。当日は雨模様にもかかわらず沢山の方々が式典に参加されました。

最初に主催者である上野町長より「現在の私達が安心・安全な生活を送ることができるのも、厳しい時代を力強く生き抜いてきた皆様のお蔭です。心より感謝申し上げますと共にこれからもお健やかに」と挨拶がありました。

続いて式典に出席された金婚者の代表者に賞状と記念品が贈られました。また来賓の小林町議会議長、川津県議会議長より挨拶があり、その後、橋本県知事の挨拶文が紹介されました。次に、金婚者を代表して興野一秀さんが謝辞を述べら



れ、小林教育長の閉会の言葉で式典は終了し、後半のアクションの部の



青山太鼓保存会の皆さん

に入りました。

最初にプロのものまね歌手美空こてじさんが、一人でカラオケの機械を操作し変装しながら、時に笑いを交えて15曲を歌いあげました。次に青山太鼓保存会のメンバー4人による演奏がありました。力強く、それでいて軽快なリズムで会場の人達に太鼓の素晴らしさを届けていました。

参加された方に感想を伺ったところ「からだは動くうちはせめて人様の世話にならないよう心掛けている。今日はお祝いをしてもらえてとても嬉しい」と語っていました。参加された皆さんは満足気に帰って行きました。

(写真掲載は希望者のみです)



大山 登・サタ子 夫妻(石塚)

50年、大きな病気もせず、健康でこられたこと、金婚式を迎えられてとても幸福に思っております。これからも今まで同様毎日楽しく過ごして、いきたいと思います。



大畠 和良・宏美 夫妻(石塚)

家族や友人、地域の人々に支えられ、金婚式を無事迎えることが出来ましたこと、心より感謝しております。これからも健康に気をつけ、助け合いながら楽しい人生を送りたいと思います。



石原 正敏・悦子 夫妻(石塚)

結婚50年、長いようで過ぎてみればあっという間。夫婦の証として3人の子、7人の孫を得、各々の成長を見守っている。共に誠実さだけは守り、無事夫婦の節目に到達出来た。互いに伴侶に感謝です。



茂木 忠勝・エツ 夫妻(磯野)

此の度金婚式を迎える事が出来感無量です。これもひとえにこれまで支えてくれた方々のお陰と感謝しております。これからは健康に留意し、一日一日を楽しく穏やかに過ごしたいと思っております。



米本 繁雄・和子 夫妻(那珂西)

この度金婚式を迎える事が出来た事は、家族や周りの皆様方の支えによるものと感謝の気持ちで一杯です。これからも健康に気を付けて穏やかな日々を過ごしたいと願っております。



坂本 松雄・功子 夫妻(那珂西)

結婚して50年を迎える事が出来た事、2人の御先祖さまに深く感謝しております。これからも子々孫々に致るまで見守って下さいね。波乱万丈の人生だったけれど、これからも助け合せて、歩んで行こうと思っております。本日は誠に有りがとう御座居ました。



清水 春生・静江 夫妻(上古内)

「結婚、50年」いろいろありましたが、無事今日を迎える事が出来ました。これもひとえに社会の皆様のご協力あつての事と感謝して居ります。今後もお互いに趣味三昧で生きたいと思います。



永山 高男・絹江 夫妻(小坂)

平坦な道のりの50年ではありませんでしたが、その時々々の事に触れる毎に、社会の多くの人達に御支援をいただき、金婚を迎えることが出来たことに感謝しております。今後健康で生活出来れば幸いに思います。



所 要三・紀子 夫妻(下青山)

無事に金婚式を迎えられたことを嬉しく思います。この50年、長い様で短い年月でした。友人や家族の温かな支えがあつてこそと深く感謝しております。今後も元気で楽しい人生を送りたいと思ひます。



仲田 澄雄・悦子 夫妻(塩子)

この度、金婚式を迎えられた事は、家族や地域の皆様そして友人達のお陰だと心より感謝しております。今後も健康に気をつけて楽しく人生を全うしたいと願っております。また平和な世の中をお祈りしてます。



仲田 高明・昭子 夫妻(御前山)

あれから50年、色々な事がありました。健康でこの日を迎える事が出来ました。皆様に感謝です。これから先も、お互いを思いやり、寄りそつて、心豊かに一日一日を大切に過ごして、いこうと思ひます。



興野 一秀・正江 夫妻(上坏)

喜びも、悲しみも、苦しみも支えあいながら乗り越え、念願だった「金婚式」を揃って迎えられ、これ以上の喜びはありません。残された日々、共に助け合いながら健康で明るく暮らせますよう願って居ります。

きらっと生きる 持ちつ持たれつ の心意気で

— 福祉有償移送サービス —

買物や病院に行きたいけど車がない、などとお困りの要支援、要介護認定者および身体障がい者手帳をお持ちの方をお手伝いしようと、平成8年に開始した「福祉有償移送サービス」事業。サービスを受ける人たちからは喜ばれています。

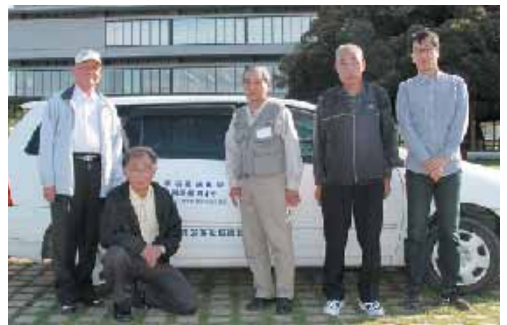
今回は、福祉有償移送サービス事業の協力会員として活動されている方々へ、お話を伺いました。

協力会員の方々の職業はまちまちで、自営業や農業の方もおられます。全員が「移動サービス運転者認定講習会」を受講し、福祉移動に

かわる知識や心がまえを身につけています。病院への送迎では、診察終了まで待合室で待つこともあるといます。そして手荷物の持ち運びも。利用会員さんの中には、「ぜひ、あの人がお願いしたい」と協力会員を指名される方もいらつしやいます。

ある協力会員は、「利用者さんが喜んでくれるのとても嬉しい」と語っていました。利用会員さんとの車中での会話はとても勉強になる、とのことでした。

協力会員の方々に、この事業に参加した動機を伺ったところ、ある会員は「自分も間もなく、サービスを受ける側になる。しかし今は、サービスを提供している。その幸せを実感している」と感慨深げでした。またある会員は、「母が体調を崩したとき、私も妻も働いていたので送迎に苦労した。その経験がこの事業に加わった動機だ」と話してくれました。持ちつ持たれつの精神だよなあ」という協力



(左から) 杉本さん、寺門さん、飯村さん、関根さん、八田さん

会員の言葉にみなさんは深くうなずき合いました。「お年寄りが元気な町はいい町だ。そのなかに自分がいると思うと嬉しい」という意見もありました。

この「福祉有償移送サービス」は、町外へ行くときも利用ができます。協力会員の方々は、多くの町民に知ってもらいたいと口をそろえています。

ご利用を希望される方は、社協へご相談下さい。

【連絡先】

☎029(289)7013
協力会員になる為には、移動サービス運転者認定講習会を受講いただきます。



10月11日(火)から12日(水)と、つくし作業所の研修旅行に行ってきました。千葉方面は今回初めてで、1日目に成田空港を見学しました。空港の中には展望デッキがあり、たくさんの飛行機を眺めることができました。

次にホテルに向かいました。ホテルには色々な国の方々をはじめ、パイロット・客室乗務員の方など飛行機に関係がある人が多かったです。

2日目は、「ひこうきの丘」へ行きました。ここは空港のすぐ近くにあり、頭上を飛行機が通過していくのがすぐそばに見え、着陸と離陸を望める所です。いつまでも見ていたい場所でした。そして、いつか飛行機に乗ってみたいと思いました。

次は、成田山新勝寺に行きました。これも海外の方が多く、エレベーターがあ

り大本堂まで上がることができます。お寺は、悪い気を持ちを流してくれるよつで、建物にも日本の歴史が感じられるので、海外の方に人気があるのかもしれない。

今回は、海外の方を多く見かけた旅行でした。これからも、まだまだ知らないことがたくさんあるので、旅を通して知りたいと思いました。

(加藤直)



成田空港でハイチーズ！

サロン北方

桂地区サロン北方の活動は、高齢者クラブ立ち上げ型で開始し、今年で8年目を迎えます。現在では35名の方が登録され、毎回25人程の方が参加し活動しています。

それまで北方地区には、地域の方々が集まる、交流の場には無く、触れ合う機会も殆んど無い状態でした。

サロン北方を開始した当初、月1回の開催でしたが、現在では参加者の要望により、月2回、北方営農研修センターで開催しています。開始時間は9時30分ですが、9時には殆んどの方が集合し、ご夫婦で参加されている方も4組います。

開始時間になると指導士号令の下、シルバーリハビリ体操を説明に従って行います。結構ハードな体操で、1時間経過する頃には徐々に汗を掻き、体全体が柔らかくなって来ます。ここで



体操を行うサロン北方の皆さん

水分補給とひと休憩です。10分程休憩した後半の体操が始まります。最後に大きな声を出し、嚙下体操を行って11時頃に終了します。この後は皆さんが持参した漬物、地区より用意された茶菓子を頂きながら「おしゃべりタイム」です。これが一番楽しい時間です。また笠間警察署による詐欺防止講習会、自転車運転マナー講習会なども開催し、被害や事故に遭わぬための講習会も開催しています。サロン活動以外では、年に1回の旅行。月2回のゴルフも行っています。

共同募金運動への協力について

平成28年9月27日(火)那珂市総合センターらぼーるにおいて、いばらき赤い羽根フォーラム2016が開催され、募金活動に協力をいただいているボランティア5名が参加しました。

フォーラムでは、中央共同募金会の阿部陽一郎事務局長が、募金開始から70年の活動状況や特に「地域をつくる市民を応援する共同募金」活動の必要性を話されました。

また、地域の活動報告では、地域の子供を守り支える活動や認知症支援、学習支援事業等が報告されました。

今年も10月から12月が共同募金運動の期間となります。

城里町の地域福祉向上につながる運動となりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

日常生活自立支援事業

日常生活を過ごしていく中で、判断に不安をかかえる高齢者や障がい者の方が、地域で安心して暮らしていくよう、福祉サービスの利用に関する手続きや毎日の暮らしに欠かせない金銭管理のお手伝いをします。

また、大切な印鑑や証書などを安全な場所でお預かりすることもできます。

この事業にかかわる専門員が、ご本人の意向をもとに適正な支援計画を作成し、利用者との意思疎通を図りながら支援し、生活支援員が定期的に利用者のごところにお伺いして、預貯金の出し入れや生活に必要な費用のお支払を代行します。

利用にあたっては、利用料金がかります。詳細はお問合せください。

【問合せ先】

城里町社会福祉協議会

029 288 7013

埋蔵文化財センター「いせきびあ茨城」

茨城県埋蔵文化財センター「いせきびあ茨城」が平成28年7月26日(火)に旧北方小学校内にオープンしました。

「埋蔵文化財」とは、土の中に埋もれていた文化的な財産で、「遺跡」や「遺物」などです。センターではこれらの貴重な品を保存・活用し、将来に伝えていきます。1階の展示室

では土器や石器、埴輪などは時代別に展示してあり、特に那珂西から出土した大きな壺型土器が目をひきます。また

勾玉づくりなど体験コーナーもあります。2階では遺物の修復作業などを行っています。開館時間は9時から17時入館は16時30分まで。土日曜日祝日は休館。入場は無料。場所 城里町北方1481 029(289)3300



展示室の様子。手前は壺型土器。

わが町のさわやか元気さん ④

桐原さつきさん 92歳
那珂西



大越みさをさん 96歳
上 坏

みさをさんは、足腰を痛めてからは農作業をやめて野菜づくりと花の栽培を楽しんでいます。

玄関の前には鉢植えのゼラニウムの花が、色とりどりに咲いていました。現在は、息子さんご夫婦と3人で暮らしています。戦争中は、家族3人で日

さつきさんは、大正12年生まれ92歳になります。しゃきつとした姿勢と語り口は若々しく、年齢を感じさせません。

広い敷地の庭先の畑には丹精込められた、季節の野菜が作付けしてあります。朝食は手作りの煮物と野菜の和え物、乳製品を用意します。夕食は鶏肉を使った料理が多いとの事です。バランスの取れた食生活

立市に住んでいましたが、戦禍の中、長男を背負いご主人と3人で上坏に戻りました。みさをさんが36歳の時にご主人が亡くなり、残された3人の子供を育てるため、一人で万能や鋤で畑を耕作し頑張りました。息子さんご夫婦もやさしく、みさをさんの健康状態も良好ですが、定期的に病院に通っています。現在は、3人の息子さん

が健康の源かと思えます。生け花では、池の坊の師範の資格を持ち、19歳の頃から各地域の教室で指導を続けたそうです。

アキレス腱の怪我で左足を痛めました。8年前にシルバー体操の「サロンなかさん会」に入会し体操をしています。月2回の体操で痛みも和らぎ、庭の草取りも出来る様になったそうです。

明るく優しい気配りのあるさつきさんの家には、お友達が集まりそうです。に支えられ幸せです。これからも体に気をつけ元気に過ごしたいとの事でした。益々のご長寿をお祈りいたします。



ふれあいタクシーのご案内

ふれあいタクシーは、町内の自宅や指定場所から目的地まで乗合にて送迎しています。

運行日・運行時間

・月曜日から金曜日までの平日運行です。土・日祝日年末年始は運休となります。

・朝8時から夕方4時まで一時間に一便運行します。

利用料金

・一乗車につき300円です。割引き料金は150円です。

・割引き対象者は、障害者、要支援・要介護者及び助者(一名まで)です。

利用するためには

・事前に登録する必要があります。登録は無料です。社協窓口や電話等で受付しております。

ぜひ、ご利用お待ちしております。

【問合せ先】

城里町社会福祉協議会
029 288 7013

目次

福祉・防災フェスティバル	1
福祉・防災フェスティバル	2・3
敬老会・金婚式式典	4・5
きらつと生きる	6
つくしの四季	7
サロン北方	7
共同募金運動への協力について	
日常生活自立支援事業	
しるさこ	8
わが町のさわやか元気さん	8
ふれあいタクシーのご案内	
目次・編集後記	

編集後記

今年も秋がやって来た。太陽が西に傾いた頃、冷たさを感じる柔らかな風に誘われて久しぶりに散歩に出掛ける。畦道で立ち止まり山の方を見ると夕日に染まった茜雲、なぜか懐かしさとほんの少しの寂しさを覚える。ふと気がつけば静寂のなか、一軒の家の庭から一筋の煙。細く高くのぼっていく。この秋の感じって何なんだろう？